

保育教材のころみ

染もようあそび(色の構成デザイン)

山中 寿 美 礼

特徴

ローケツ染めの着物の柄から思いついたもので、紙の折り方、つける時間、染める個所により、色にじんで偶然の美しいパターンができる。ひろげてみて、美しい模様になったことの喜びを楽しむことができる。

過程

私のクラスの子どもたちが、大変興味をもってこの遊びを続けた動機は、六月のある日濃紫のかきつばたの花を絞って紫の色水を作り、ちり紙をつけて遊んだことでした。

薄い紙をつけるとすと色がしみ透ってにじんでくることが非常に楽しかったようです。

次の日登園してきたNちゃんは、絵具の溶いてあるのをみて、その中に紙をつけ始めた。

いつの間にかYちゃん、K君、Mちゃん、大ぜいの子どもたちがよってきてそれぞれにちり紙を折りたんで同じことをやり始めた。手も絵具だらけ、紙もベトベトになって破れてしまった子もいる。でも皆やめようとしなない。私は習字用の上半紙があったので、それを机の上に置いた。その紙をみつけたF君、今度は

どんなに染まるかな



いい色に染まりました（ちり紙を染めて）



筆に絵具をたっぷりつけて、あの色、この色とポトポトおとしては紙をたたんだりひろげたりしている。見るといろいろな色が重なってにじんだものが美しい模様のようになっていて、大変美しい。

M君は折り線を筆で塗り、たんだんでは塗り、白い個所のにじんでいくのを喜んでいる。

今日はまた意外におもしろい模様ができ上り、色のにじみ、配列などが大変美しかった。

いつだったか、私は教え子のMさんから、それは美しい和紙ぞめを見せて貰ったことを思い出し、染料を使っての和紙染に発展させて見たら……と思いい材料を準備した。（染粉、障子紙、奉書紙、そして少し上等のちり紙など）

二、三日してお天気の良い日（乾きがよいため）に、

僕のこれちょっとみて、絵具で遊んでできたもよう



「今日は本当の染物屋さんごっこをしましょう」といって染粉を見せた。「先生染粉だったらよく染まるの?」「染まると思うけどやってみましょうよ。紙もいろいろあるし、ちり紙は二枚位重ねてみようぶ折りにして染めてごらん」「扇子みたいに折るの?」「そうよそうよ」

私は染粉をお湯で溶いて用意した。

染料の中につけて紙を見つめていたS君、「わあーきれいな色、こんなに染まっちゃったよ」「僕は紫と黄にしてみよう」「先生私

のれんの絵をかいています

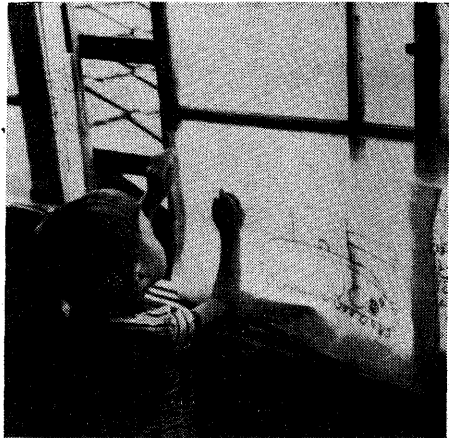


の見てよ」とキョッキョッキョキながら喜んでゐる。私まで楽しくなって、「先生にもやらせてね」といって仲間入りをさせてもらう。「先生この紙ですといいよ」と子どもは親切に教えてくれる。

鮮やかな色と、にじみ透ってできていくさまさまの模様の美しさに、子どもたちはもう一枚もう一枚と何枚でも染めて遊び、いつの間にか、溶いた染料も、紙も無くなってしまった。

でき上った作品はナブキンにでも使ったらよさそうな、素敵に美しい模様ばかりだった。翌日小さいアイロンを持って、一生懸命仕上げをしている姿も可愛く微笑ましいようでした。大変興

裏にうつしとっている



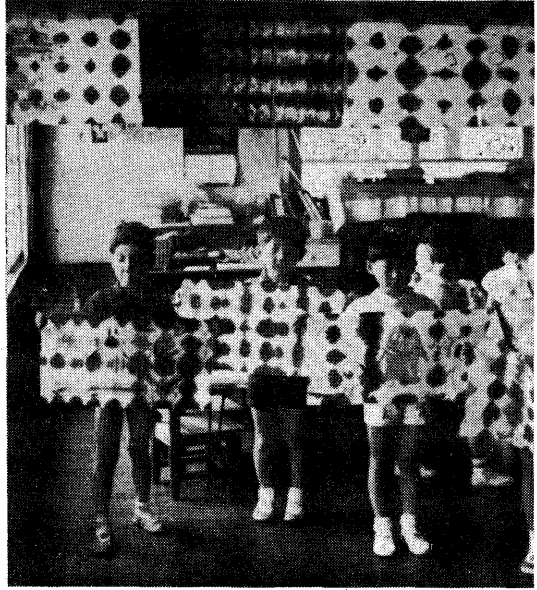
の大好きな絵を描いてね、それから染めましょう」といって紙をわたす。

「先生おぼQでもいいね」「私はお花の絵を描こうかしら」楽しいおしゃべりをしながら絵を描き、折りたたんで染めにくる。

紙の折り方、染める時の紙のつまみ方、色の選択もなかなか子どもは上手なものです。染め上ったのれんは、いうに及ばず、どんな一流のデパートでも買えない素晴らしい作品ばかりでした。吊るしたのれんは風にゆれて……紙ににじんだ美しい色の中に子どもを描いた絵が浮き上り、お部屋の中を涼しく大変美しく飾ってくれました。

味をもって子どもたちが遊んだので、今度は一人一人に少し大きい紙で何か作らせてみようと考え、紙のれんを作ってみることにした。「今日はこの紙に皆

たくさんのおれんができました



結果

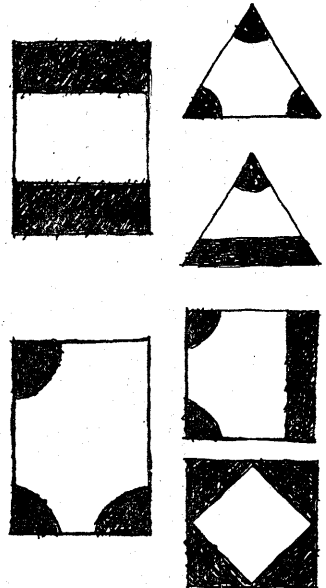
色水の染め遊びから発展して染料を用いて和紙を染めるまで、子どもたちは色の美しさや、どんな紙がよく染まるか、折り方、染め方を工夫したりして、楽しみながら数多くのことを経験したことと思います。

紙のれんの作り方について

1. 材料

紙||雲竜紙、染料||木綿直接染料、染料の作り方||テ
イスブーン一杯の染粉を水500ccを80°Cにしたお湯で溶

いろいろなおり方で染める



かす(いつも80°Cの温度を保っておくとよいが、冷めても染まらないことはない)

2. 順序

クレパスで好きな絵を描く(両面に描くこと) 描いたら
びょうぶたたみにする(拡げ易い) 形は長方形、三角
形、正方形など

染料につける時余りつけすぎないように注意、のれんの場合一色に染めるのも描いた絵がはつきり浮き上って美しい。新聞紙の上に拡げて乾かす。なま乾きの時アイロンをかけて仕上げ、のれんのように切り込みを入れる。竹があれば、吊るす所を少し折って竹を通す。

のれんの目的でなく和紙を染めた場合、箱に貼ったり、本の表紙にする、壁に貼っても楽しい。

(広島県場幼稚園)